

# 小児がん看護セミナー実施報告

2021年3月9日（火）  
看護セミナー担当  
渡邊、後藤、柴田、小野

# 小児がん看護セミナーの概要

目的	1.小児がん看護に必要な基本的知識・技能を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。 2.関東・甲信越ブロックにおける小児がん看護の連携を強化する。
対象	厚生労働大臣の指定する小児がん拠点病院または小児がん診療病院に所属する看護師、あるいは医療・福祉に関する資格(社会福祉士、特別支援学級教諭等の国家資格や臨床心理士等の認定資格)を有していること。
日時	①2020年9月16日～18日 ②2021年1月20日22日
申込者数	①162名 ②155名 計317名
方法	Web研修

# 小児がん看護セミナー①

## (2020年9月16日～18日)

時間	内容
10分	講義「小児がん対策、疫学、最新の動向」 国立成育医療研究センター 小児がんセンターセンター長 松本 公一
60分	講義「小児がんの代表的疾患（血液腫瘍・固形腫瘍）と治療」 講師：国立成育医療研究センター小児がんセンター移植・細胞治療科診療部長 加藤 元博
20分	講義「小児がん看護概論」 講師：小児専門看護師 後藤清香
30分	講義「小児がん治療で使用する薬剤」 講師：国立成育医療研究センター 薬剤師 歌野 智之
30分	講義「小児がんにおける化学療法と症状マネジメント」 講師：がん化学療法看護認定看護師 田子 彩

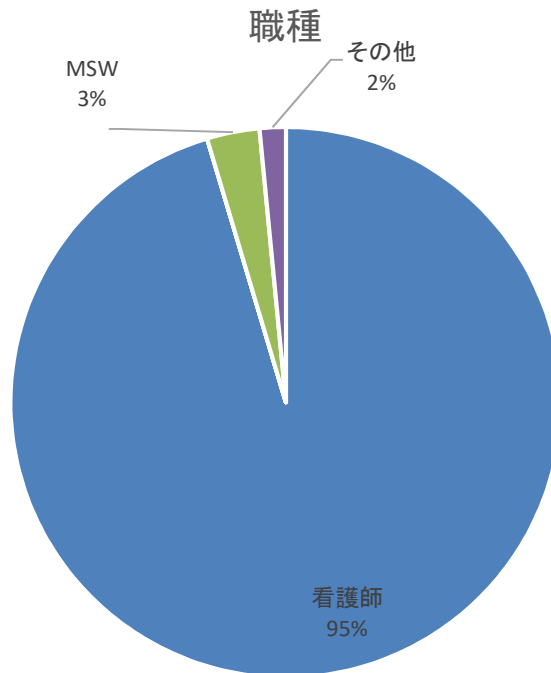
# 小児がん看護セミナー②

## (2021年1月20日～22日)

時間	内容
45分	講義「終末期の小児がん患者の緩和ケア」 講師：国立成育医療研究センター がん緩和ケア科診療部長 余谷 暢之
30分	講義 「終末期の小児がん患者の緩和ケア」 講師：緩和ケア認定看護師 會田 麻里絵
45分	講義「小児がん患者の晩期合併について」 講師：国立成育医療研究センター小児がんセンター 医師 清谷 知賀子
30分	講義「小児がん患者の長期フォローアップ」 講師：小児看護専門看護師 柴田 映子

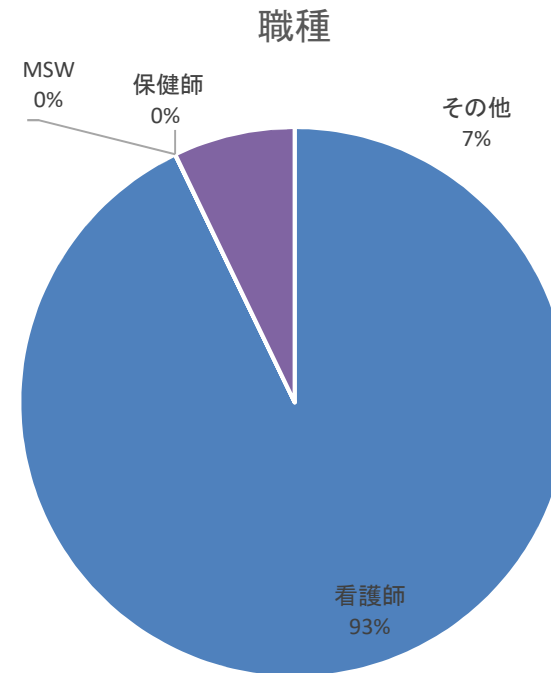
# 受講者の職種

## 小児がん看護セミナー①



■ 看護師 ■ 保健師 ■ MSW ■ その他

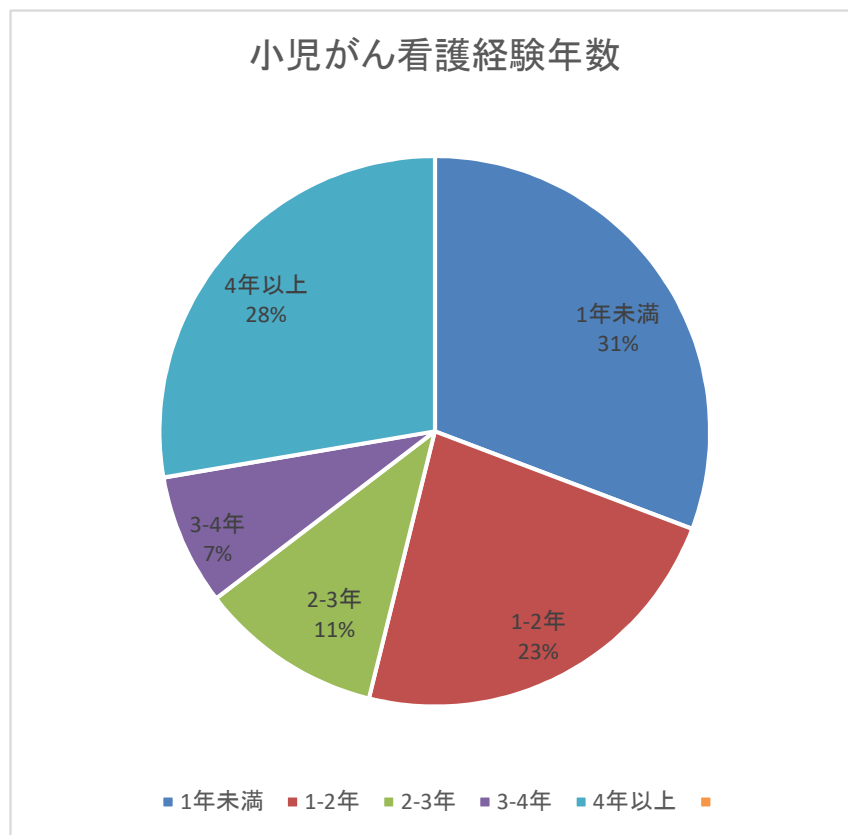
## 小児がん看護セミナー②



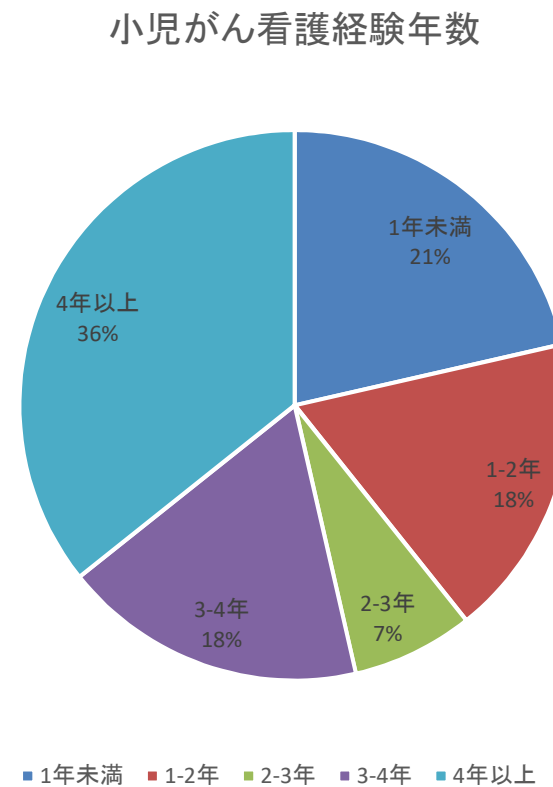
■ 看護師 ■ 保健師 ■ MSW ■ その他

# 受講者の経験年数

## 小児がん看護セミナー①



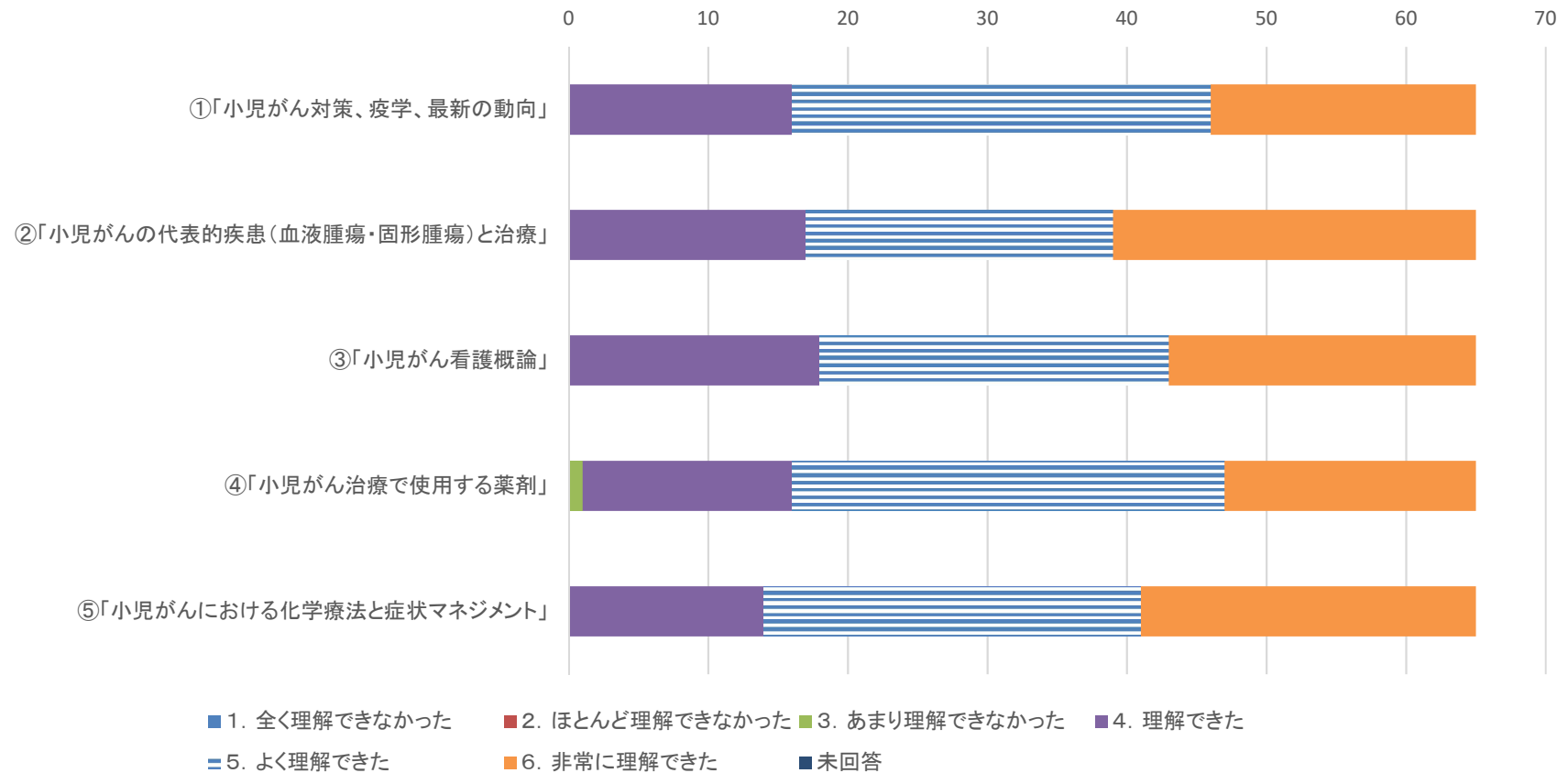
## 小児がん看護セミナー②



# 講義の評価（小児がん看護セミナー①）

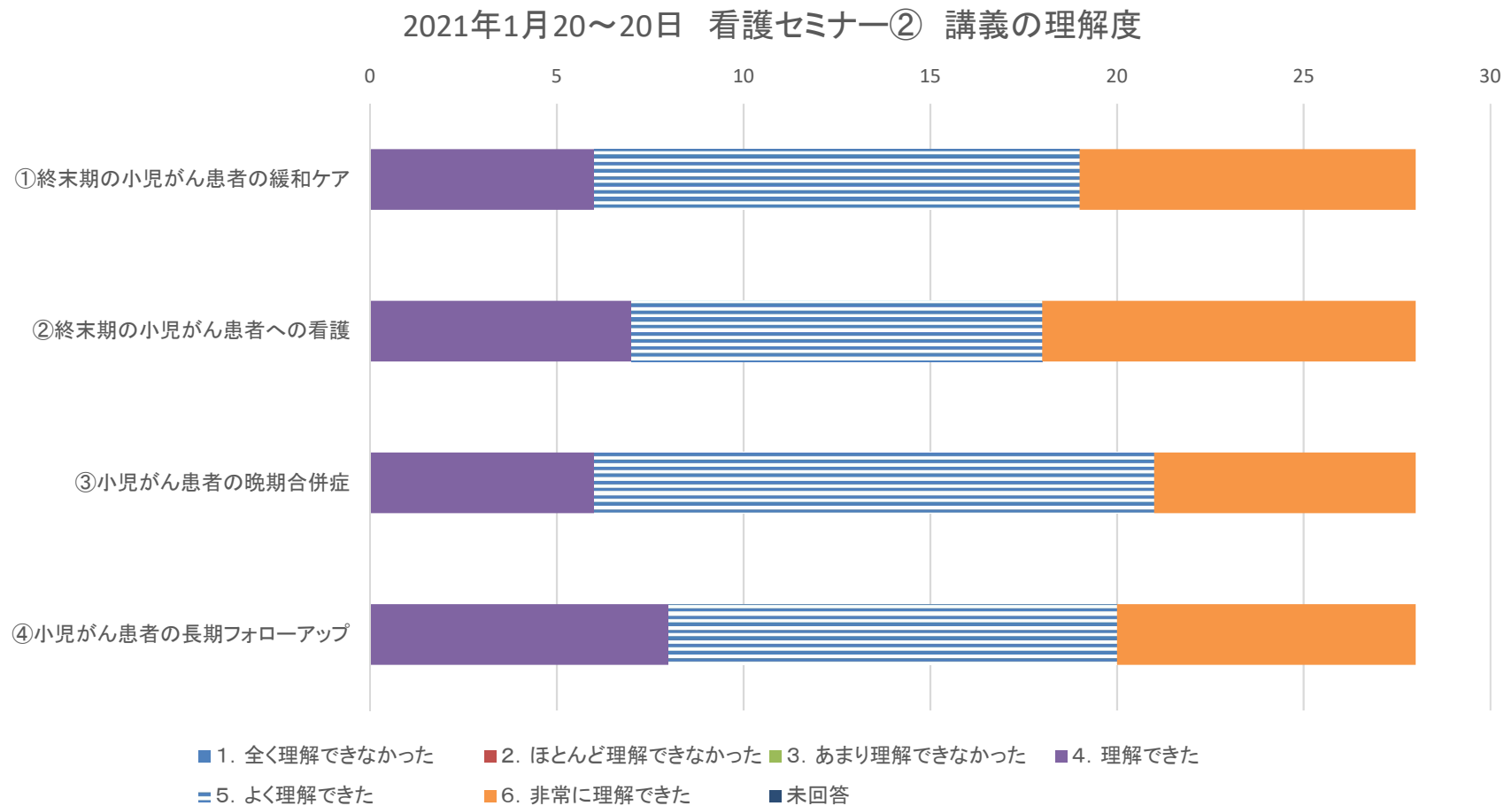
アンケート回収 n=65

2020年9月16～18日 看護セミナー① 講義の理解度



# 講義の評価(小児がん看護セミナー②)

アンケート回収 n= 28





# 講義内容の評価

- 講義のテーマについて

小児がん経験3年目未満を対象として講義内容を計画した。看護セミナー①は基礎的な内容で、理解できた人が9割であった。看護セミナー②では終末期、晚期合併、長期フォローアップなど経験が浅い対象者でも、アンケートで講義は「理解できた」と9割の人が答えている。事例など用いた講義で分かりやすかったと考える。その他の講義も「とてもわかりやすかった。」との感想があった。内容は、良かったと思われる。

自部署で活用できる内容であったかは、看護セミナー①②とも9割が「そう思う」「とてもそう思う」と答えていた。

# Web研修の評価

- 受講申し込み者は、小児がん看護セミナー①162名、②155名であった。Web研修は、3日間配信し、何回でも見れるようにした。

	講義時間	視聴回数
講義1	10分	202回
講義2	60分	225回
講義3	20分	172回
講義4	30分	152回
講義5	30分	142回

	講義時間	視聴回数
講義1	45分	149回
講義2	30分	136回
講義3	45分	141回
講義4	30分	112回

- 受講申し込みは定員50名のところ看護セミナー①が162名、②155名と多かった。3日間で何度も視聴できることや、休みを希望して会場まで移動する必要がない、聞き逃したら巻き戻すことができ再度確認できたことは、メリットであったと考える。看護セミナー②の受講申し込み者155名の視聴回数を確認すると、各講義が視聴回数を155より下回っている。時間内に視聴できなかった人がいるのは残念であった。また対面での講義でないため、アンケートでの理解度を把握したかったが、回収率が低かった。アンケート後に修了証と資料を受け取れる方法にしたが携帯電話での視聴者が多く印刷しなかったなどが考えられる。